

# ふくしの森ステーション かじ だより

発行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションかじ（加治東地区行政センター内）  
電話：070-7792-2423（不在時は本部へ転送されます。）/ファクス：042-973-8941  
メール：station-kaji@hannosyakyo.or.jp

開所日時：火～金曜日（祝日を除く）🕒 9:15～16:15

## 加治東地区・加治地区の 圏域別ふくしの森プランが完成しました！

加治東地区ふくしの森活動計画

（対象：岩沢/阿須）

### 持続可能なたすけあいの地域を目指して

取組目標①：ひとりぼっちをつくら  
ない、誰でも交流できる地域

- ①居場所づくりの取組の拡充
- ②多様性の理解を育む取組
- ③ふれあい交差点部会の取組の拡充

取組目標②：地域でこどもを育てる

- ①こどもの居場所部会の活動の拡充
- ②新たな子ども食堂の立ち上げの検討
- ③市、社会福祉協議会との連携強化

取組目標③：地域でたすけあう

- ①たすけあいわネットの立ち上げ再始動
- ②新たな買い物支援の取組の検討
- ③その他のたすけあいの充実

取組目標④：持続可能な地域づくり

- ①地域活動団体同士で情報を共有、たすけあう
- ②地域を越えてつながる、サポートしあう
- ③市、社会福祉協議会との連携強化

加治地区ふくしの森活動計画

（対象：川寺/笠縫/落合）

- ①ひとりに（孤立）させない
- ②つながりをたもつ（つくる）
- ③安心・安全なあたたかい地域

取組目標①：さまざまな団体同  
士でつながり、助けあおう！

- ①地域活動団体間のネットワーク組織を設立する
- ②地域の福祉課題について継続して話し合う
- ③情報を共有し合うことで、サポートし合う

取組目標②：“こどもの居場所づ  
くり”の活動を地域で応援しよう！

- ①“人”で応援する
- ②“場所”で応援する
- ③“資金”で応援する



左：こどもの居場所/加治地区 / 右：子ども食堂/加治東地区

## 地区の皆様と一緒に作り上げた“ふくしの森プラン” 力を合わせて一緒に取り組んでいきましょう！

“ふくしの森ステーションかじだより”は各自治会のご協力で回覧していただいています。

# 「第4次はんのうふくしの森プラン」

## がスタートしました！〈令和6年度～令和11年度〉

### 【第4次プランの概要】

#### 〈基本目標〉

【交】交流が生まれる機会と  
外出しやすい環境をつくろう

【支】支え合いの仕組みをつくろう

【安】安心して暮らせる  
仕組をみつくろう

#### 〈社協の重点取組〉

- ・相談支援体制の充実
- ・多様な地域づくりの推進

### 第3次プランの成果（一例）

#### ふくしの森リーダーが誕生！

新たに地域活動を立ち上げ・既存活動の後継者になるなど、地域活動の中心となっていく「ふくしの森リーダー」。活動していく上で必要となる“知識、体験、つながり”を得て、25名のリーダーが誕生しました。

#### 地域の居場所が増えました！

第3次プランでは、ふれあいいきいきサロンや、こども食堂など、地域の居場所が新たに10か所立ち上がりました。また、セブン-イレブン日高下川崎店と社協の共催で移動販売をスタート。買い物支援だけでなく、地域交流の場にもなっています。

### 第4次プランのポイント ～どこが変わったの？～

#### 新たに「圏域別プラン」ができました

飯能市内を13地区に分け、それぞれの地区で話し合いを行いました。各地区の強みや生活課題を踏まえ、地区ごとの活動計画を決めました。

#### 相談支援体制の充実

「ふくしのなんでも相談員」として個別の相談に応じるとともに、地域の課題解決に向け、地域活動の活性化を図るコミュニティソーシャルワーカーの全13地区への専任配置を目指します。コミュニティソーシャルワーカーの活動拠点であり、市民にとっての身近な相談窓口である【ふくしの森ステーション】も13地区への設置を目指します。

#### 多様な地域づくりの推進

ふくしの森リーダーの育成に取り組むとともに、住民同士が出会い、参加することのできる場や支え合う関係性を広げ、交流や活躍の場を生み出していきます。

表紙はこちら



ふくしの森プラン  
QRコード

